

# 高速形除雪ドーザ

本格的なスタッドレス化の時代を迎え、冬期間の円滑な交通確保のためには、従来にも増して迅速な除雪と精度の高い路面管理が求められるようになっていきます。

こうしたニーズに対応するために、除雪能力と走行性能を高め、より効率的に作業を行うことができる専用の高速形除雪ドーザが開発されました。

交差点の段差解消やトンネル出入口の除雪などを行う従来の除雪ドーザは、回送速度が遅く現場間の移動に時間がかかるため効率的な除雪作業を妨げるだけでなく、他の車両の通行にも支障をきたしています。

そこで高規格道路への対応も含め、回送速度の高速化と除雪能力の向上を目的として高速形除雪ドーザが開発されました。

最大の特徴は高出力エンジンとロックアップ機構付自動変速機の搭載で、最高速度 70km/h での走行が可能となりました。あわせて低速時（車体屈折）と高速時（前輪転舵）で操舵方式を変えたり、建設機械用としては初めての高性能スノータイヤや ABS<sup>1)</sup>、ASR<sup>2)</sup> の採用などにより、走行安全性が大幅に向上しています。

また、視界の確保や防音・防振への配慮により作業環境も向上し、トータルな意味で除雪作業の効率化を実現しています。

■問い合わせ／北海道開発局建設機械工作所

TEL 011-851-4111

1) ABS（アンチロックブレーキシステム）

滑りやすい路面での制動時において、タイヤがロックすることを防ぎ、方向安定性の向上を図るしくみ

2) ASR（アンチスリップレギュレータ）

発進時等にタイヤがスリップした場合、自動的にブレーキをかけたり、エンジン出力を抑えて、スムーズな走行を可能とするしくみ

